

病防第64号
平成28年8月4日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生および防除（技術情報第5号）について（送付）

トビイロウンカの飛来状況については、平成28年7月22日付技術情報第3号で発表しましたが、その後の発生状況について下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考として御活用ください。

記

早植えおよび普通期水稻における防除適期は7月14日の飛来を起点としたものとなります。

1 発生状況

- (1) 8月2日に県内48カ所のほ場で払い落とし調査を行った。
- (2) 前回情報では飛来時期を2通り想定していたが、早植えおよび普通期水稻とも発生を確認したほ場では若～中齢幼虫が主体であったことから、7月14日の飛来個体が主に定着していると考えられる（表1、図1）。
- (3) 早植え水稻(20ほ場)での10株当たり成幼虫数は0.8頭（平成26年2.6頭）、発生ほ場率40.0%（平成26年69.4%）であり、いずれも平成26年に比べ少ない発生であった（表1、図2）。
- (4) 普通期水稻(28ほ場)での10株当たり成幼虫数は0.2頭（平成26年0.7頭）、発生ほ場率32.1%（平成26年41.0%）であり、平成26年並の発生であった（表1、図2）。
- (5) 一部ほ場では要防除水準に達していたため、箱処理剤を使用していないほ場等では今後の発生に注意する。
- (6) 福岡管区気象台が8月4日に発表した九州北部地方の気象予報によると、向こう1ヶ月の平均気温は平成26年より高くトビイロウンカの増殖に好適な条件になると予想される。

2 防除対策

- (1) 7月14日の飛来個体を対象とした各地域の予想される防除適期(第二世代幼虫期)は表2のとおりである。
- (2) トビイロウンカは増殖率が高いため、現在低密度のほ場でも今後の天候次第では高密度となる恐れがある。定期的にはほ場の発生状況を観察し、特に、箱処理剤を使用し

ていないほ場等で、要防除水準（普通期水稻：8月上旬(2頭/10株)、8月中～下旬(10頭/10株)、収穫30日前(30頭/10株))を超えた場合は直ちに防除する。

- (3) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。
- (4) 粉剤及び液剤は、トビイロウンカが多く生息する株元に付着するよう散布する。
- (5) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やBPMC剤に対する感受性が低下している(平成28年3月4日付技術情報第15号参照)。
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

表1 トビイロウンカの発生状況

10株当たり虫数

地点名	成虫				幼虫			計	地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢			長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢		
山鹿市鹿北1	0	0	0	0	0	1.0	0	1.0	熊本市画図1	0	0	0	0	0	0.3	0	0.3	
山鹿市鹿北2	0	0	0	0	0	0	0	0	熊本市画図2	0	0	0	0	0	0	0	0	
山鹿市菊鹿1	0	0	0	0	0	0	0	0	熊本市中無田1	0	0	0	0	0	0	0	0	
山鹿市菊鹿2	0	0	0	0	0	0	0	0	熊本市中無田2	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	
阿蘇市内牧1	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	熊本市富合町新1	0	0	0	0	0	0	0	0	
阿蘇市内牧2	0	0	0	0	0	0	0	0	熊本市富合町新2	0	0	0	0	0	0	0	0	
南小国町1	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0.7	宇城市松橋町1	0	0	0	0	0	0	0	0	
南小国町2	0	0	0	0	0	0	0	0	宇城市松橋町2	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	
南阿蘇村1	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	玉名市北牟田1	0	0	0	0	0	0	0	0	
南阿蘇村2	0	0	0	0	0	0	0	0	玉名市北牟田2	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7	
南阿蘇村久木野1	0	0	0	0	0	0	0	0	玉名市横島1	0	0	0	0	0	0	0	0	
南阿蘇村久木野2	0	0	0	0	0	0	0	0	玉名市横島2	0	0	0	0	0	0	0	0	
御船町吹野1	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0.7	山鹿市南島1	0	0	0	0	0	0	0	0	
御船町吹野2	0	0	0	0	0	0.3	0.7	1.0	山鹿市南島2	0	0	0	0	0	0	0	0	
甲佐町早川1	0	0	0	0	0	0	0	0	山鹿市鹿本1	0	0	0	0	0	0	0	0	
甲佐町早川2	0	0	0	0	0	0	0	0	山鹿市鹿本2	0	0	0	0	0	0	0	0	
八代市二見町1	0	0	0	0	0	0	0	0	菊池市赤星1	0	0	0	0	0	0	0	0	
八代市二見町2	0	0	0	0	0	0	0	0	菊池市赤星2	0	0	0	0	0	0	0	0	
芦北町大野1	0	0	0	0.3	0	2.3	6.3	9.0	大津町新1	0	0	0	0	0	0.7	1.3	2.0	
芦北町大野2	0	0	0	0	0	0.7	1.7	2.3	大津町新2	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	
平均(20地点)	0	0	0	0.0	0	0.3	0.5		嘉島町下仲間1	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(成虫・幼虫)	成虫 計				0.0	幼虫 計			0.8	嘉島町下仲間2	0	0	0	0	0	0	0	0
平年^{注4)}					0.8				0.8	八代市高田1	0	0	0	0	0	1.3	0	1.3
発生ほ場率					40.0%				40.0%	八代市高田2	0	0	0	0	0	0	0	0
										水川町1	0	0	0	0	0	0	0	0
										水川町2	0	0	0	0	0	0	0	0
										芦北町百木1	0	0	0	0	0	0	0	0
										芦北町百木2	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7
										平均(28地点)	0	0	0	0	0	0.1	0.1	
										成虫 計	0	幼虫 計			0.2			
										計(成虫・幼虫)					0.2			
										平年^{注4)}					0.7			
										発生ほ場率					32.1%			

注1) 1地点につき、30株調査
 注2) 早植え水稻(5月植え)
 注3) 計はラウンドの関係で一致しない
 注4) 平年値は2011年を除く過去9年

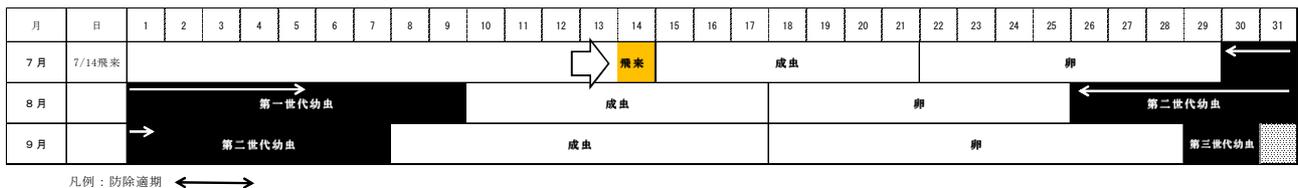
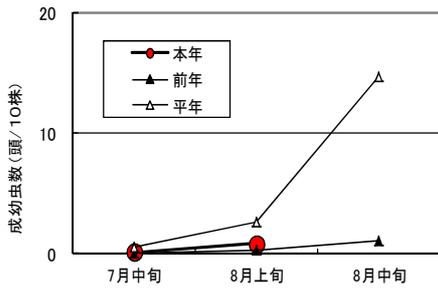
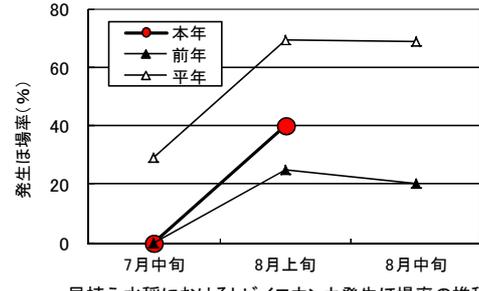


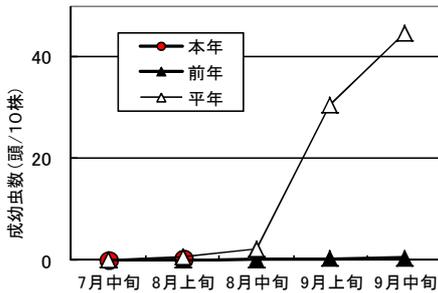
図1 トビイロウンカの発生予想ステージ (熊本市のアメダスデータによる予想)



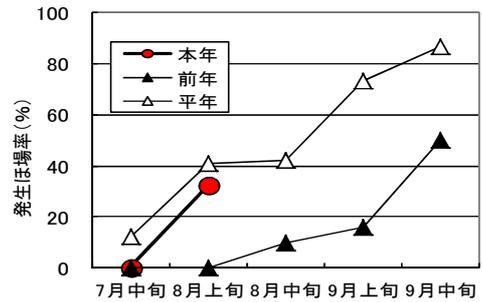
早植え水稲におけるトビロウンカの発生推移



早植え水稲におけるトビロウンカ発生ほ場率の推移



普通期水稲におけるトビロウンカの発生推移



普通期水稲におけるトビロウンカ発生ほ場率の推移

図2 早植えおよび普通期水稲での発生推移 (左：成幼虫数、右：発生ほ場率)

表2 予想されるトビロウンカの防除適期^{注)}
(7月14日飛来)

地点	防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	8月26～9月1日
三角	8月28～9月3日
岱明	8月26～9月1日
鹿北	9月1～7日
菊池	8月29～9月4日
阿蘇乙姫	9月10～16日
甲佐	8月29～9月4日
八代	8月27～9月2日
水俣	8月28～9月3日
人吉	8月31～9月6日
本渡	8月29～9月4日

注)・7月14日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(8月2日までは今年の日データ、8月3日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の发育ステージを予測した。
・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	发育0点(℃)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係)
担当：加賀山・春山 TEL 096-248-6490